

III 基本戦略

今後も長期的に人口減少が見込まれる本道において、総合戦略のめざす姿を実現するためには、人口減少の進行を「緩和」する観点と、人口減少社会への「適応」の観点により、粘り強く継続的に取組を進めていく必要がある。

人口減少の進行の「緩和」に向けては、人口ビジョンで考察した自然減・社会減の要因（核家族化の進行、未婚・晩婚・晩産化、若者の進学・就職等による首都圏への転出、札幌圏への人口集中など）を踏まえ、安心して子どもを産み育てられる環境の整備や、女性や若者が働きやすく活躍できる環境づくり、移住・定住の促進、外国人材の受入拡大と共生などに、分野横断的に取り組み、より実効性を高めることが重要である。

一方、人口減少社会への「適応」に向けては、今後も長期的に人口減少が見込まれることを踏まえ、より一層のデジタル技術の活用等による生産性の向上や日常生活に必要なサービスの維持などの人口減少が地域に与える様々な課題への対応と同時に、本道の特性や食、観光、再生可能エネルギーなどのポテンシャルを力に変え、新たな需要を取り込みながら、経済、産業の活性化につなげることにより、魅力と活力ある地域づくりを進めていくことが重要である。

こうした観点から、北海道の創生に向けた基本戦略として、以下の5つの柱を設定し、総合的に施策を推進していくこととする。

1 一人ひとりの希望をかなえる社会をつくる

- ① 安心して子どもを産み育てられる環境の整備
- ② 未来を担う子どもたちの成長を支える教育環境の充実
- ③ 若者、女性、高齢者、障がい者など多様な人材の活躍
- ④ グローバル化に対応した世界で活躍できる多様な人材の育成

関連する SDGs の目標

